

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-178	小学校	外国語	英 語	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英語 617	Blue Sky elementary 6		

## 1

### 編修の基本方針



今後、ますます多様化していく社会の中で、さまざまな人々と協働しながら持続可能な社会の担い手となる児童に必要な資質・能力を培う観点から、以下の3点を基本方針として位置付けました。

#### 基本方針

### 1

#### 言葉を使うための知識が しっかり身に付く教科書

世界のさまざまな人々とつながり、そして協働するためには、言葉を使う知識は不可欠です。

この教科書では、英語を使うために必要な語彙や表現の知識を楽しく着実に身に付けることを目指しました。「言語材料に慣れ親しむためのインプット活動→慣れ親しんだ言語材料を使ったミニアウトプット活動」を繰り返すことで、少しずつ「わかった!」「できた!」を重ねていきます。

#### 1人1台端末 の有効活用

資質・能力の育成に  
効果的な音声や映像を  
適宜提供しています。

Jingle, Chant,  
ゲームなど



>>> 6年 単語クイズ

#### 基本方針

### 2

#### 考える力を育む教科書

この教科書では、英語を学ぶ活動を通じてさまざまなことを考えます。「この英語はどんな意味だろう?」「どんな場面で使えるだろう?」「自分の伝えたいことを、英語でどんなふうに話せば(書けば)聞き手に伝わるだろう?」など、たくさんの「考える」場面に出会いながら、思考力を養います。

アニメーション映像、  
Activityの例示映像など



>>> 6年 Activity映像

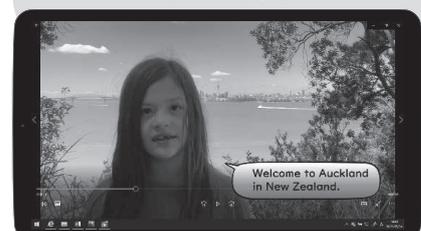
#### 基本方針

### 3

#### 多様な文化や考えを理解し、 他者に配慮する心を育む教科書

世界のさまざまな人々とつながり、協働するためには、言葉のほかに他者への配慮も不可欠です。そこで、この教科書では、世界のさまざまな人々の生活や考え、文化を紹介するコーナーを豊富に設けました。多様な価値観を知ることで、そういった価値観を持つ人々と話すときに、相手に配慮できる心を育みます。

外国の人が話す映像や、異文化理解  
につながる映像など



>>> 6年 Friends around the World映像

# 1 教科書の構成

- ・各学年とも主に、Pre Unit, Unit, REVIEWで構成しています。
- ・各学期のUnitの配分は以下のように設定しています。

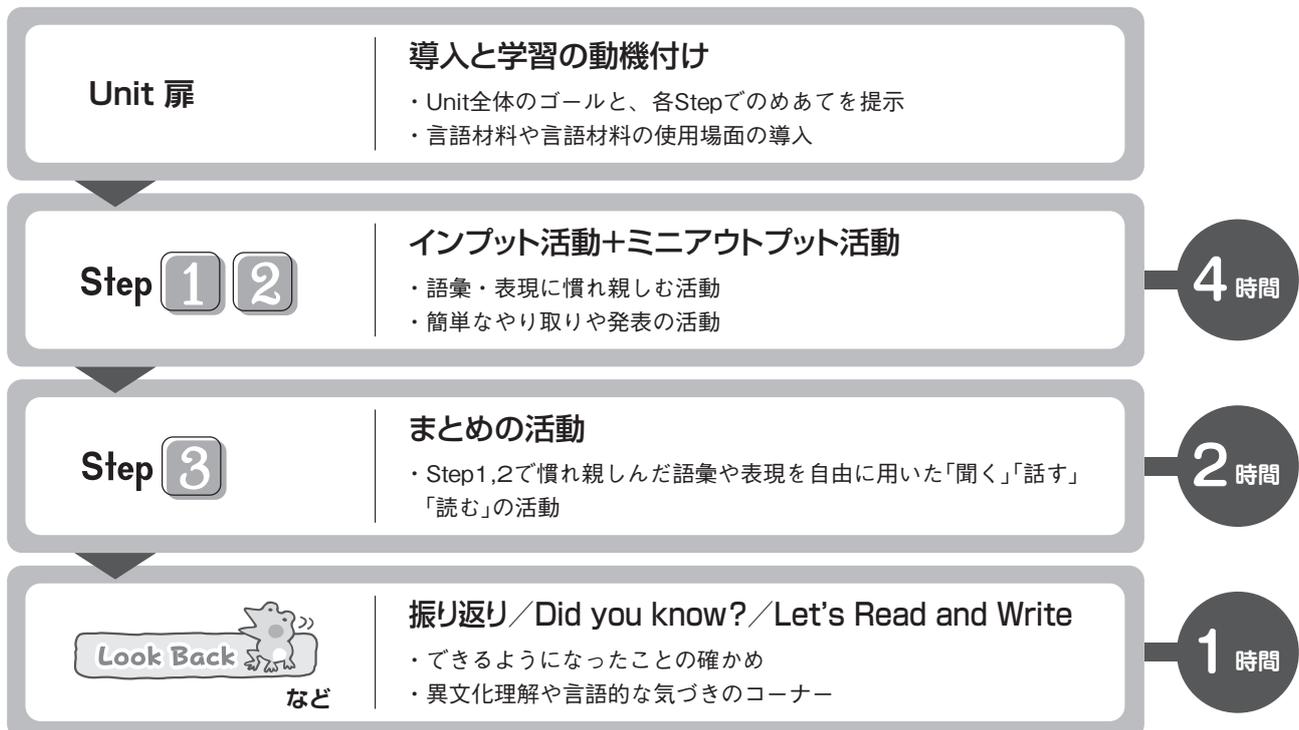
I 学期 (25)	Pre Unit (2)	Unit 1 (7)	Unit 2 (7)	Unit 3 (7)	REVIEW ① (2)
2 学期 (23)	Unit 4 (7)	Unit 5 (7)	Unit 6 (7)	REVIEW ② (2)	
3 学期 (16)	Unit 7 (7)	Unit 8 (7)	REVIEW ③ (2)		

( )内は配当時数

(※2学期制では、Unit4までが前期、Unit5以降が後期となります。)

- 各学期の最後にREVIEWを設定し、コミュニケーション活動を通して「聞く&話す」、「読む&話す」などの技能統合的な学習ができるようにしています。
- 各学期の配当時間には余裕をもたせているので、学級や児童の実態に応じて柔軟に扱うことができます。
- 巻末にCan-Do Listを掲載して、児童が目標をもって学習したり、学習を振り返ったりできるようにしています。

# 2 各Unitの構成



- 各Unitの配当時数はいずれも7時間としています (Pre Unitのみ2時間配当)。
- 各Unitは、授業の展開を考慮して、Unit扉 → Step 1～3 → 振り返り で構成しています。
- 各Stepは見開き2時間という余裕をもたせた配当時間になっているので、繰り返し練習やゲーム活動、デジタル教材などを使った追加の活動を行うこともできます。
- Let's Read and Write では、アルファベットを「読む」「書く」活動をし、習得を図ります。  
Step 3+振り返り+Did you know?で3時間とし、Let's Read and Writeは帯学習にすることもできます。

# 3 紙面の構成・特長

① 言葉を使うための知識をしっかりと身に付けることができます。

## Unit扉

一言葉や言葉を使う場面に出会うー

**GOAL**  
Unitのゴールおよび各Stepのめあてを先に示すことで、このUnitで何ができるようになるのかがよくわかるようにしています。

- Introduction**
- イラストから人物を探するなど、クイズ形式で、英語の意味を推測しながら、言語材料の導入を図ります。
  - イラストを使って簡単な質問をするなどのSmall Talkに使うこともできます。
  - 音声をQRコードから聞くことができます。



- Watch the Scene**
- 言語材料の使用場面や、児童が目指すべきゴールのイメージを、アニメーションで見ることができます。どんなことを話しているのか想像しながら場面や言語材料に触れることができます。
  - アニメーションはQRコードから視聴することができます。



>>> 6年 p.82-83

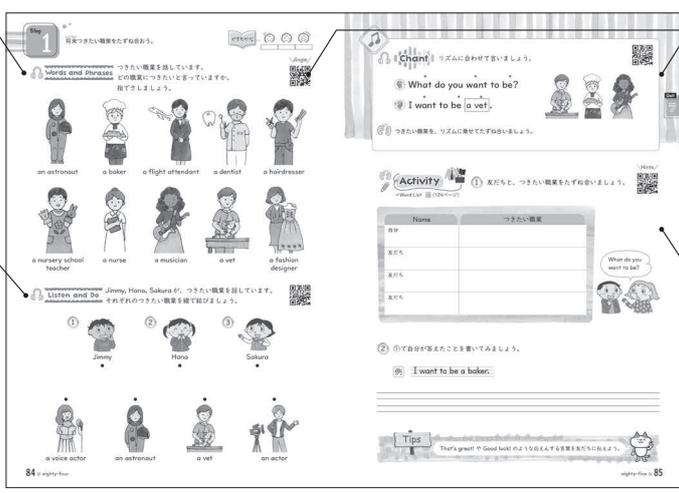
**point**  
映像やA4判のダイナミックなイラストで、無理なく楽しみながら導入活動ができます。



## Step 1, 2

一使いながら言葉に慣れ親しむー

- Words and Phrases**
- 音声を聞いて、語彙やフレーズの意味や使い方を推測する活動を行います。
  - 音声をQRコードから聞くことができます。



- Jingle, Chant**
- 語彙や表現をリズムに乗せて言うことで、定着を図ります。
  - 音声をQRコードから聞くことができます。

- Listen and Do**
- 簡単な会話などを聞いて、英語が理解できたという達成感を得ることができます。
  - 音声をQRコードから聞くことができます。

- Activity**
- 学んだことを活用して、簡単なやり取りや発表の活動を行うことで、英語が話せたという達成感を得ることができます。
  - 児童が伝えたいことを英語で言うためのヒントをQRコードから見ることができます。



>>> 6年 p.84-85

**point**  
意味や使い方を考えたり、声に出したりしながら語彙や表現の定着を図ります。



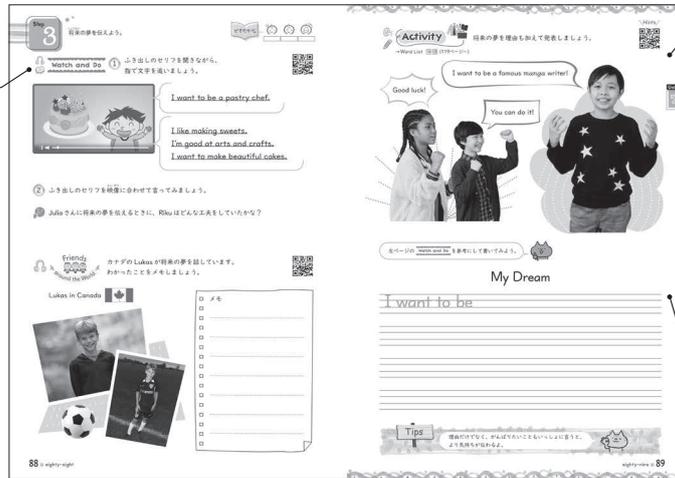
② 考える力を育みます。

# Step 3

—思考力・判断力・表現力等を伴うコミュニケーションを楽しむ—

**Watch and Do**

Unit扉のアニメーションの一部を再度視聴して、登場人物のセリフの文字を指で追ったり、音声に合わせて言ったり、**他者を意識したコミュニケーションに大切なことを考えたりします。**



**Activity**

- 各Stepで学習してきたことや、**思考してきたことをまとめて、Unitのゴールとなる言語活動**を行います。
- QRコードから活動例の映像を見ることができま



**その他**

A4判にすることで、書き込みスペースを広く設けました。

>>> 6年 p.88-89



**point**  
言語活動を行いながら、考える力を育みます。

③ 多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育みます。

# Step 3, Did you know?

—異文化理解を促す豊富な情報—



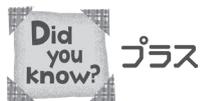
>>> 6年 p.32

各UnitのStep 3では、外国の人たちが自分の生活や自分の国について紹介する映像から、**外国の文化や生活などについて学ぶ**ことができます。



>>> 6年 p.58

各Unit末のDid you know?では、**異文化や日本とのつながりなど、Unitに関連するトリビア的知識**を紹介しています。QRコードから映像を見ることができます。



- p.48-49にはDid you know?プラスを掲載し、**SDGsに関連する外国の文化や取り組み**を紹介しています。
- QRコードからはSDGsの目標や取り組みを紹介するWebページ「わくわくSDGs」にアクセスすることができます。



>>> SDGsサイト

**point**  
世界のさまざまな人々とつながり、協働するための素地をつくりま



## 2

## 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	▶コミュニケーションに大切なことに触れる機会をたくさん設け、聞き手および相手に配慮した伝え方を考えることで、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)	p.8-9「コミュニケーションに大切なこと」、p.20「Watch and Do」、p.21「Activity」など
	▶言語活動を通じて、伝え方や使えるフレーズを学び、コミュニケーションに活かせる幅広い知識と教養を身に付けます。(第1号) また、それらを実生活で活かせる力を養います。(第2号)	p.21「Activity」「Tips」、付録「会話を楽しむフレーズ集」など
	▶学習の見通しを持ったり、振り返ったりすることで、自主および自律の精神を養い、主体的に学習を進められるようにします。(第2号)	p.15「GOAL」、p.22「Look Back」、p.130-131「Can-Do List」など
	▶さまざまな人種の人々が、互いを尊重し、垣根なく接する様子を掲載しています。(第3号)	p.14-15「Introduction」、p.89「Activity」など
	▶イラストなどにおいて、「固定観念で性の区別をしない」、「男女の社会的役割を平等にする」など、ジェンダーへの配慮をしています。(第3号)	p.82-83「Introduction」など
	▶ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、他者と協働することで言語面や態度面などにおけるさまざまな気付きが生まれるようにしています。(第3号)	p.19「Activity」など
	▶世界の人たちの生活や文化を知ることで、幅広い知識と教養を身に付け、他国のことを理解・尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号、第5号)	p.42「Friends around the World」、p.58「Did you know?」など
Unit 1	▶外国の人に伝わる自己紹介を考える活動を通じて、他者を敬愛する心を育みます。(第3号)	p.21「Activity」
Unit 2	▶外国の人に日本に来てもらえるように日本の魅力を伝える活動を通じて、自国と郷土を愛する心を育みます。(第5号)	p.33「Activity」
Unit 3	▶自分の住む地域にとって必要なもの考える活動を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.41「Activity」など
Unit 4	▶自分の体験を伝え合う活動を通じて、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号) また、自分の体験について、伝えたい情報を整理し、相手に伝わる話し方を考える活動を通じて、他者を敬愛する心を育みます。(第3号)	p.57「Activity」など
Unit 5	▶憧れの人の特徴や職業、偉業などについて考える活動を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や、勤労を重んずる態度を養います。(第2号、第3号)	p.67「Activity」など
Unit 6	▶外国の小学校の行事を知ったり、自分の小学校の思い出を外国の人に伝えるときの内容を考えたりする活動を通じて、自他国の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	p.71「Watch the Scene」、p.77「Activity」
Unit 7	▶将来の夢について考える活動を通じて、自主および自律の精神を養うとともに職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養います。(第2号)	p.87「Activity」など
Unit 8	▶やってみたい部活動や中学校生活について考える活動を通じて、自主および自律の精神を養います。(第2号)	p.95「Activity」など
Did you know? プラス	▶世界のSDGsに関する取り組みを紹介し、生命や自然を大切にすることを育みます。(第4号)	p.48-49 など

## 3

## 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育・  
ユニバーサルデザインへの  
対応

- 本文にはUDフォントを採用して視認性・可読性を高めました。
- 誰もが読みやすいように文節で改行をしたり、学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮しています。
- 色覚特性や障害のある児童などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会による検証を受けています。
- デジタル教科書や拡大教科書を用意し、児童のさまざまな学習形態に対応できるよう配慮しました。

UD FONT

MUD

## 指導書の充実

- 教科書をより有効にご活用いただくため、朱註や指導案集、ワークシート集、評価テスト集など、授業で使える材料を豊富に用意しています。
- ALT向けの指導書をデータにて提供します。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-178	小学校	外国語	英語	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
61 啓林館	英語 617	Blue Sky elementary 6		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

育成を目指す資質・能力の3つの柱や、ICT活用の観点に沿って、下記特色を持つ教科書にしました。

### 特色 1 「わかった!」「できた!」を重ねる

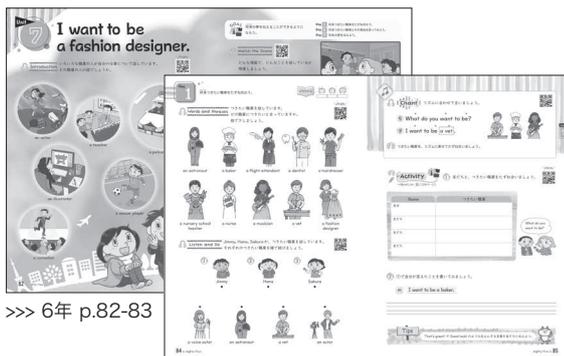
知識・技能

スモールステップで着実に力が付く授業の流れを提案しています。

Unit 扉

Step 1,2

言語材料に慣れ親しむためのインプット活動  
およびミニアウトプット活動を行います。



>>> 6年 p.82-83

>>> 6年 p.84-85

#### Step 1, Step 2

第1時

- ①Unit扉やWords and Phrasesで、言語材料の意味や使用場面が「なんとなくわかった!」という体験をします。
- ②推測を通して意味を理解した語彙や表現を、JingleやChantで定着し「わかった」を重ねます。

第2時

- ①第1時で学んだ言語材料をJingleやChantで復習し、Listen and Doの演習に取り組みます。リスニング問題は、「できた!」という体験ができるようにしています。
- ②Activityでは、慣れ親しんだ言語材料を簡単な言語活動の中で使って、「英語を話すことができた」という体験をします。

#### Step 3

思考力・判断力・表現力を養い、  
質の高いアウトプットを目指す言語活動を行います。



>>> 6年 p.88-89

#### Step 3

第1時

- ①Watch and Doで、Unit扉のアニメーションをもう一度視聴し、Step1,2で慣れ親しんできた表現を聞き取れたという達成感を得ると同時に、文字に触れる活動を行います。また、コミュニケーション上の工夫についても考えます。
- ②①で考えたことを踏まえて、Activityの準備をします。

第2時

- ①Friends around the Worldで、各Unitの題材に沿った内容で外国の人たちが話す映像を視聴し、世界の様子に触れます。
- ②Activityで前時に準備した内容をブラッシュアップし、コミュニケーション活動を行います。コミュニケーション活動のヒントとしてActivityの映像を視聴し、相手のことを考えて話す内容を工夫する思考力を養います。6年生では、自分が話した内容を書くことも行います。



point

「考える、わかる、使ってみる」を繰り返しながら、少しずつできることを増やしていく構成にしています。

特色 2

「考える」を促す

思考・判断・表現

この教科書では、コミュニケーションの目的・場面・状況を設定して考える力を養います。

「この英語はどんな意味だろう?」「どんな場面で使えるだろう?」「自分の伝えたいことを、英語でどんなふうに話せば聞き手に伝わるだろう?」

たくさんの「考える」場面に出会い、思考力を養いながら、世界の人々とつながるための知識や技能を試行錯誤しながら身に付けられるようにしました。

① 「英語の意味や使い方」を考える

各UnitのIntroductionやWatch the Scene, Words and Phrasesなどでは、イラストや映像を手がかりにして、聞こえた英語がどのような意味なのか、どのような使い方をするのかを推測できるようにしています。



「ビーチに行って泳いだ」って言ったのかな?

〈スクリプト〉  
I went to the beach. I enjoyed swimming.

>>> 6年 p.50

② 「コミュニケーションに大切なこと」を考える

▶ コミュニケーションに大切なこと (p.8,9)

相手に伝わるには、話し方をどのように工夫すればよいか、会話を続けるにはどのようにすればよいかという視点を持ちます。

話し方を工夫しよう

- ① 聞き手のほうを見て話そう。
- ② 聞き手がわかりにくいと思う部分は、特にゆっくりはっきり話そう。
- ③ 絵や写真、ジェスチャーなどを使いながら話そう。
- ④ キーワードなど、大事な部分を強調して話そう。
- ⑤ 知っている表現をうまく活用して話そう。

話す内容を工夫しよう

>>> 6年 p.8

▶ 各Unit



Watch and Do

映像を見て、コミュニケーションをとる上でどのようなところが良かったか、どのような工夫があったかななどを考えます。そしてActivityなどで話す際に活かせるようにしています。

Sakura が Smith 先生たちにすすめるとき、どんな工夫をしていたかな?

>>> 6年 p.32

Friends around the World

外国の人たちが、自分のことや、身の周りのこと、自分の国のことなどを話すのを見て、自分たちと共通することや違うことを考えます。世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促します。



>>> 6年 Friends around the World 映像



>>> 6年 Activity映像

Activity

実際に児童がやり取りや発表をする映像を見て、話すときの工夫を考えます。

Tips

コミュニケーションで気を付けたい点や、あいづち表現など、コミュニケーションに役立つ情報を紹介しています。

Tips  
どんな順番で話すか相手は理解しやすいか考えてみよう。

>>> 6年 p.57

コミュニケーションに使える表現は巻末付録にもたくさん!

## 特色 3

## 「もっと学びたい」を引き出す

## 主体的な学び

### ① GOALとCan-Doの明示

Unitの扉では、Unitのゴールおよび各Stepのめあてを明示し、学習の見通しが立てられるようにしています。また、Unit末のLook Backでは、できるようになったことを確認したり、学んだことが日常のどのような場面で活用できるか考えたりします。巻末のCan-Do Listには、6年生でできるようになることを、Unitごとに4技能5領域別で掲載しています。このように目標を提示することで、児童が自らの学習をメタ認知できるようにしています。

### ② 興味・関心の刺激

Did you know?では、児童の興味・関心を刺激する、異文化情報を豊富に扱っています。教科書に掲載されている情報以外に「どんなものがあるかな?」などと問いかけ、自ら探求することを促します。また、関連した雑学クイズを設け、さらに興味・関心を刺激します。



Did you know?プラスでは、世界のSDGsの取り組みも紹介！

## 特色 4

## 1人1台端末を有効に活用する

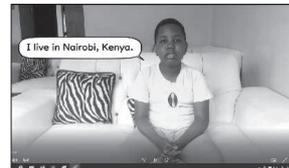
### ① 豊富な映像資料 QRコードから、見たいときに何度でも見ることができる多彩な映像資料を用意しました。



言語材料の使用場面や状況がわかるアニメーション



GOALをイメージさせる、児童のやり取りや発表の参考映像



外国の人たちが、自分の生活や自国のことについて話す映像



世界の生活や文化を紹介する映像

### ② 個別学習への対応 QRコードからアクセスできる、個別学習に適したコンテンツを用意しました。



#### Jingle

単語やフレーズをリズムに乗せて聞いたり言ったりすることができます。



#### Chant

文をリズムに乗せて聞いたり言ったりすることができます。



#### アルファベット・単語クイズ

3択クイズで、アルファベットの形や音の定着、単語の定着を図ります。



#### Activityのヒント

語彙リストから児童が言いたい英語を選択して文を作り、その音声を聞くことができます。

### ③ ICTを活用したコミュニケーション活動例

コミュニケーション時のツールとしてタブレットやパソコンを用いている写真や映像を入れ、ICT活用の例を示しています。

※児童の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書も発刊します。

## 教科書の観点別特色

観点	特色	該当箇所
教育基本法・学習指導要領の遵守	①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成するため、次の基本方針の下、編修しました。 「 <u>言葉を使うための知識がしっかり身に付く教科書</u> 」「 <u>考える力を育む教科書</u> 」 「 <u>多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育む教科書</u> 」	全体
主体的・対話的で深い学び、協働的な学び	①語彙や表現の意味や使い方について、映像視聴やリスニング活動を通じて <u>自ら推測できる仕掛け</u> を設けています。推測したことを <u>児童どうして共有</u> することで、理解につながるように工夫しています。 ②映像を見たり、話したりする中で、コミュニケーションに大切なことに <u>自ら気付く</u> ようになっています。 ③各Stepで慣れ親しんだ語彙や表現を使ったミニアウトプット活動を設けることで、達成感を得てモチベーションを高めたり、 <u>友だちの発話から学びを深めたりする</u> ことができるようになっています。	p.14-15 など p.8-9, 32-33 など p.17「Activity」など
知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養	①【知識及び技能の習得】 ・ <u>インプット→ミニアウトプットを繰り返し、語彙や表現に慣れ親しむ</u> ことができるようになっています。 ・教科書紙面に <u>語彙や表現を明示</u> したり、 <u>JingleやChantを豊富</u> に入れたりすることで、語彙や表現に繰り返し慣れ親しんだり、振り返ったりしながら、 <u>しっかりと知識・技能の定着を図ります</u> 。 ・巻末に <u>絵カード</u> を掲載し、ゲームなどで使用することで、児童が英語に触れる機会を増やし、 <u>基礎・基本の定着を図ります</u> 。 ・Unit末の <u>Look Back</u> で学習事項を振り返り、 <u>できるようになったことを確認</u> しながら学習を進めることができます。 ②【思考力・判断力・表現力等の育成】 ・映像やイラスト、写真などから英語の意味や使い方を推測したり、コミュニケーションに大切なことを考えたりする活動を多く設け、「 <u>考える力</u> 」を育てます。 ・児童が巻末の <u>Word List</u> などの中から自分が言いたいことを選んで書く活動を通して、 <u>思考力・判断力・表現力を養います</u> 。 ・各学期末の REVIEW では、「聞く・話す」「読む・話す」など <u>技能を統合する活動を通して、思考力・判断力・表現力を養います</u> 。 ③【学びに向かう力、人間性等の涵養】 ・興味・関心を刺激する異文化情報を豊富に扱い、児童の「もっと知りたい」を引き出します。また、外国の文化や生活を理解し、尊重する心を育てます。	全体 p.24-26, 32 など p.19, 110-111 など p.46-47 など p.22, 42 など
学びの見直し・振り返りおよび評価	①児童が見直しをもって学習が進められるように、Unit扉には <u>Unit全体のめあて(GOAL)と各Stepのめあて</u> を明示しています。 ② <u>達成度を確認</u> しながら学習が進められるように、各Stepに <u>バロメーター(できたかな?)</u> を配置しています。 ③ <u>Unitの目標を振り返る</u> ことができるように、各Unitの最後に <u>Look Back</u> のコーナーを設置しています。 ④ <u>年間を通した目標を持って学習</u> したり、振り返ったりできるように、巻末に <u>Can-Do List</u> を掲載しています。Can-Do Listは評価規準につながるように設定しています。	p.15 など p.16 など p.22 など p.130-131
内容・配列・分量	①映像から導入を図るなど、児童が <u>抵抗なく英語に接する</u> ことができるよう配慮しました。 ② <u>学習や指導の流れがわかりやすい</u> よう、各Unitの構成を一定にしています。 ③授業時間内に <u>余裕を持って取り組める分量</u> にし、指導者の裁量でゲームなど教科書外の活動も取り入れられるようになっています。 ④学級の実態に応じた指導ができるよう、 <u>予備時間を設けた配当時間</u> にしています。	全体
4技能5領域への対応	①「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「読むこと」「書くこと」の <u>4技能5領域</u> の内容を各Unitで適切に取り上げ、 <u>マークを表示</u> して、身に付ける知識・技能を明確にしています。	全体
個別最適な学びへの配慮	①Step1,2には当該Unitで学習する <u>語彙や表現を提示</u> し、 <u>児童自ら学習を振り返る</u> ことができるようになっています。 ②Word Listなどから自分の伝えたいことを選び、 <u>個人に合った言語活動</u> ができるようになっています。 ③紙面に <u>QRコードを豊富に掲載</u> し、教科書の各活動の音声、アルファベットや語彙をゲーム感覚で学習できるデジタルコンテンツ、世界の文化や生活などについて学べる映像を提供し、 <u>個別学習</u> でも利用できるようにしています。	p.17「Chant」など p.19, 110-111 など 全体

観点	特色	該当箇所
カリキュラム・マネジメント (他教科との関連、教科担任制への配慮)	①(国語)日本語との語順の違いや、話したり聞いたりするときに大切なことを取り上げました。 ②(社会)都道府県の特徴や自分の住む地域について考える活動を扱いました。また、世界の文化やSDGsの取り組みなども扱っています。 ③(算数)棒グラフや円グラフの読み取りを扱いました。 ④(道徳)他国の文化・習慣について理解し、日本人としての自覚をもてる題材を取り上げました。また、自律の精神や豊かな情操、道徳心を育む物語を取り上げています。 ⑤世界地図やコミュニケーションに大切なことなど、他教科との連携で重要なものなるべく教科書に掲載しました。 ⑥児童の特徴を読み取ることができるよう、教科書に書き込み欄を多く設けました。	p.8-9, 12 p.33, 41, 48-49 など p.48, 103 など p.22, 91, 104 表紙裏.p.1, 8-9 p.17, 19 など
小中の接続	①アルファベットの音読みを1文字1文字丁寧に学習することができるようにしています。 ②慣れ親しんだ表現を音声とともに声に出して読んだり、音声に合わせて文字を指で追ったりする活動を行い、徐々に英語を読む力の素地を養います。 ③慣れ親しんだ英文を書く活動の中で、書くときのルールを学べるようにしています。	p.23 など p.20 など p.13
1人1台 端末環境への 対応	①音声や動画などデジタル教材を使った繰り返し学習が有効な箇所には、QRコードを付けています。また、QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように「教科書の構成・使い方」のページにURLを掲載しています。 ②コミュニケーション時のツールとしてタブレットやパソコンなどを用いているイラストや写真を入れ、ICT活用の例を示しています。	全体 p.14-15, 33 など
持続可能な開発目標 (SDGs)、環境教育	①世界のSDGsに関する取り組みをクイズ形式で紹介し、児童のSDGsへの関心を高められるよう工夫しています。	p.48-49
衛生、感染症対策・ 臨時体制等への配慮	①感染症流行時に、児童自身で学習を進めることができるよう、学習に必要なほとんどの音声や映像をQRコードから視聴できるようにしています。 ②児童どうしのコミュニケーション活動ができない状況でも、QRコードから活動の例示映像を見て学習できるようにしています。	全体
用紙・印刷・製本	①大きな判型(A4判)を採用してイラストや写真を効果的に掲載したり、書き込み欄を広く設けたりすることで、学習効果が上がるよう配慮しています。 ②書きやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用しました。 ③アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しています。 ④あいづちや質問など言語活動で使える表現を、巻末の切り離しができるボードにまとめています。	全体 巻末「付録シート」

## 2

## 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	3学期 制	2学期 制
Pre Unit I can speak English! 5年生の復習	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.10~13	2	1学期 (25時間)	前期 (32時間)
Unit 1 I'm from Tokyo, Japan. 自己紹介	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.14~23	7		
Unit 2 Welcome to Japan. 日本の紹介	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.24~35	7		
Unit 3 We need a big park in our town. 自分たちの町・地域	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.36~45	7		
REVIEW ①, Did you know? プラス	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイエ, ②アイ	p.46~49	2	2学期 (23時間)	後期 (32時間)
Unit 4 I went to the zoo. 体験したこと	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.50~59	7		
Unit 5 This is my hero. あこがれの人	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.60~69	7		
Unit 6 My favorite memory is the school trip. 小学校の思い出	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.70~79	7		
REVIEW ②	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエ, ②アイ	p.80~81	2	3学期 (16時間)	
Unit 7 I want to be a fashion designer. 将来の夢	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.82~91	7		
Unit 8 I want to join the brass band. 中学校生活	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.92~101	7		
REVIEW ③	(1)アイウエ, (2)アイ, (3)①アイウエオ, ②アイ	p.102~103	2		
Story King Midas	(1)アイウエ, (2)イ, (3)①アイ	p.104~107	-		
年間配当時数			64時間 (予備時間6時間)		